

磐城時報

三廿日刊
編輯部 磐城石城郡平町野田十四
印刷部 磐城石城郡平町野田十四
電話 磐城石城郡平町野田十四
發行所 磐城石城郡平町野田十四
印刷所 磐城石城郡平町野田十四
電話 磐城石城郡平町野田十四
廣告料 一日一圓(印刷費別)

巡洋艦五十餘 突然小名濱に入港

見物人で賑はふ

二百五十餘噸の巨艦

濱三郡の海軍兵備点呼は七月延長二百六間に達し徑四尺六寸中甸小名濱港に寄港する二等巡のコンクリート管暗渠となし來洋艦五十餘艦上で執行する事既に七月初旬より起工する豫定で報の通りであるが、之に先だちある。

二十二日午後五時餘は突然小名濱港に入港し防波堤先に碇泊した、二千五百噸の巨艦で見物人で賑はつてゐるが、同艦は二十二日同港を出帆し七月十四日再び小名濱港に來り十五日点を二萬圓の起債をする事に決定し行ひ十六日は一般の參觀を許す廿二日認可方縣に申請して來た事になつてゐる。

江名漁業で 一萬圓借入

石城郡江名漁業組合では過般の總會により縣農工銀行から金一萬圓の借入を請ふ事に決定し廿二日認可方縣に申請して來た事になつてゐる。

平町會の 協議事項

二十五日開く平町會の協議事項左の如し。

- 一、昭和三年度特別戸數割賦課額決定の件
- 一、第三小學校新築敷地の件
- 一、第一區長及び代理決定の件

平町 下水道起工

本年度中に於て田町より一丁目を経て新川に入る下水道の大改修を行ふ可決したが工費は一萬二千二百圓にしてこのうち直接利益關係にある田町、一丁目、二丁目等は二千八百圓を寄附する等なるが此下水道は、四倉南市場二十二日の取引は最高六圓七十八錢、最低四圓十錢、平均五圓七十一錢、白蘭最高七圓九十九錢、最低五圓七十七錢、平均七圓、幾分安値を示した。

各地 蕪市況

石城郡錦村 大倉下分區共納出(廿一日)八百八十貫、最高七圓三十錢、最低七圓十錢、買馴七圓十四錢

石城郡川部村 沼部上分區の共同出納(廿一日)取引は千三百貫、最高六圓九十二錢、最低六圓七十錢、買馴六圓七十九錢

四倉南市場 取引減る

本年度中に於て田町より一丁目を経て新川に入る下水道の大改修を行ふ可決したが工費は一萬二千二百圓にしてこのうち直接利益關係にある田町、一丁目、二丁目等は二千八百圓を寄附する等なるが此下水道は、四倉南市場二十二日の取引は最高六圓七十八錢、最低四圓十錢、平均五圓七十一錢、白蘭最高七圓九十九錢、最低五圓七十七錢、平均七圓、幾分安値を示した。

兒童保護會 一年度決算

第一、第二兩校兒童保護會は廿二日午後二時より第二小學校に開き、役員改選の結果會長新田善次郎、副會長清野才二兩氏再選、體は實父吉田福治に引渡した。

旗亭つららの主人 賭博で擧げらる

二十二日午前九時頃平町二丁目料理店つららで主人前科八犯鈴木寅太郎(三三)が平町長橋町木炭商小松信重(四二)と十丹院粒選りの少年棋士十名を向ふと稱する花合せ賭博を開帳中平署柴崎、半澤兩刑事に捕はれた。

十五歳で 圍碁初段

我邦の棋界において名人或は少くとも高段者は間違ひない處として大にその將來を矚目されてゐる人に天才少年洋ちゃん事宮下秀洋君がある、同君は石城郡内郷村大字宮瑞寶寺の住職宮下秀實師の息で九つ歳の時から本因の二段以上の力備を有するも、部幹事長佐藤庄太郎氏等と互戦神氣分になつた、余興は相撲を愛するものである、青年は常に何かを求めてゐる。新らしいものを求めてゐる社會主義的學說が歡迎されたのもその故である。

祝ひ酒に 酔つて轢死

東白川郡竹貫村生れ當時好間村大字北好間小田炭礦坑夫吉田四郎治(三七)は二十二日午前九時頃、小屋の一部が破壊されてはらすつかり御輿を据えて酒盛を待つて内郷村字鬼ヶ澤志田常を以て同村大字高坂地内好間村古河炭礦専用鐵道線路で貨車入替中の機關車に突き當り即死したので七海部長出張張死の上死部警民は薄氣味悪がつてゐる。

評議員五十四名を改選した後昭和二年年度決算を承認した。歳入四千五百八十圓六十八錢、歳出四千二百五十五圓九十一錢、差引残四百五十四圓七十七錢(次年度繰越)

鎌田に古狐 鶏十九羽を盗む

神谷村大字鎌田宇岸農業鈴木庄武張つた處から活動寫眞連鎖之助方で二十二日の朝までの露浪花節、大神樂といつたやうな小屋に飼つておいた鶏十九羽、娛樂本位のものな各山殆んどが何者かに窃取されたのを午前七時頃發見し駐在所に届け出て、一方朝の天氣に見たので、小田炭礦坑夫吉田四郎治(三七)は二十二日午前九時頃、小屋の一部が破壊されてはらすつかり御輿を据えて酒盛を待つて内郷村字鬼ヶ澤志田常を以て同村大字高坂地内好間村古河炭礦専用鐵道線路で貨車入替中の機關車に突き當り即死したので七海部長出張張死の上死部警民は薄氣味悪がつてゐる。

雨は降つたが 山神祭賑はふ

常磐各炭礦では舊端午の節句をトして行はるゝ山神祭が昨廿二日の舊五日より廿三日へかけては年に一度の行樂デーとして全山休業の上各種余興の催しに全山わらゝばかりの賑ひを呈する筈の處初日の昨廿二日は、雨の天候報を三三割ひどく行つて夜來の雨脚に至るも晴れ上がらず折角の山神祭はこれがためおちやんになるではないかと半案じられたが十時頃から雨は曲りなりにも霽れ上がつて鈍い陽の光さへ洩れ初めたので今日を晴と着飾つた炭礦むすめなどの出足を咬り各炭礦を通じて正午頃からはやや炭礦特有の山神祭氣分になつた、余興は相撲を愛するものである、青年は常に何かを求めてゐる。新らしいものを求めてゐる社會主義的學說が歡迎されたのもその故である。

十勝會 撞球競技

平町十五丁目すくらん撞球場では七月七日十勝會を開催したが、會費一切無料一等から十等まで授賞する外猛者會を開く筈で参加者四十名を豫想され盛會を極めるであらう。

材木町の賭博 二十

二日午後四時半頃平町材木町形付屋某方で内郷村大字御厩高橋(二九)外三名が十丹賭博を開帳中平署金子巡査に捕はれた。

學生の思想

城山にて 泉 田 生

若い學生の時代は誰でも純でありまた甚だ好奇心に富んでゐるものである。青年は常に何かを求めてゐる。新らしいものを求めてゐる社會主義的學說が歡迎されたのもその故である。

純であることはまことに結構であり好奇心がつよいといふことにはそれによつてはじめてその人の眼が附け向うしてゆくのであるからこれ亦甚だ結構なことであるがしかし反面それ故に弊害が伴ひ易い。即ち若き人々は純であり、あまりに急なるため稍々ともすれば無批判にこれを受け入れ易いと云ふ事である、盲信し易いと云ふことである。

われわれの生活經驗は何もの對してもあらゆる方面から批難を試みさせる、だからたゞはばマルキシズムのやうなものに對しても冷静にこれを批判しその根柢を爲す唯物史觀の缺陷を爲す唯物的なものが出來るのであるが、學生にはその生活經驗が少い、生活經驗の少いといふ事は現象に知ることゝ少いといふことにならざる、マルキシズムの根柢を爲すものは唯物史觀であるがしかしながらわれわれの生活は單に物質的な生活のみではない、物質生活のみを以て生活であるとは考へることの誤りなものは何人も否むまい、マルキシズムはこの誤謬に陥つて居る。

しかるに現實について知ること少い純な學生は「新らしい」といふ魅力に引きつられてこの缺陷を看過し易いのである。だから、學生の思想善導といふことは、何よりも根本の問題として學生に批判の力を養はしむることにならなければならない。現實を見る眼を開き、批判の力を養ふならば思想は自ら中正なるを得ると思ふ。

三歳の子供が 爐の中で黒焦げ

飛び込んだ子供を其儘にして 母親を迎へにゆく

箕輪村大字大利字成澤農業根本
スイ方で二十一日午前十時頃敷
名の子供が集つて居宅内で遊戯
中ノイの二女フミ(三つ)が火の
燃えてゐる爐の中に飛び込んだ
ので子供達は驚き約二町程離れ
てゐる隣へに行つてゐた母親を
呼びに行つたが、母親が駆けつ
けた時は子供は火の中で全身黒
焦げに焼け引あけたがもう手の
下しやうがなく絶命した、報に
接し平野から大久保部長出張調
査中である

自動車衝突

二十一日午後六時頃平町紺屋町
山野邊(十五)が自轉車に乗つ
て平町に歸る途中中子自動車部
の平、湯本間乗合金成義房(二
四)の運轉する自轉車と内郷村
驛前に於て正面衝突し自轉車
は大破し山野邊一は負傷した。

時報文藝

▲感るものを求む

山 生
後は亦今日も何者かを求めん
として
くぼんだ目を見開き飢えて歩
き
されど求めやうとして捨てら
れず
此れ人の世の常なるが如き
心に何か知らぬと思ひわすら
うえうえと歩く姿の

榮共+存共
融金、易調
蓄貯、味趣
堅ト意誠
無欺啓
電話四二四番

▲うばらと惱
徹 郎

一本の花うばら
我が寂しき庭に
濃艶の香をたよはす
お、うばらよ
汝の友が庭の
松の古木の蔭に
心なくも植すてられしが
強き刺戟求めて
哀傷を忘れんとする
我が庭に移し
植られしものを
なれど、なれど
我が胸の痛手は
汝が色香に
まぎらはされじ
日と共に深み行きて
世の總ての呪はしきは。

鳥料理 うなぎ 蒲焼

平町南町
魚 榮
電話四二四番

スター好
中一好
形中
着尺モスリン
本場蚊帳
平 龜田屋
電五七

腸胃 専門
皮膚病 専門
院病村松
電話七〇一

驚いた!!!
こうまで安いとは
—加納活版所の印刷物

◆公 告

本郡の舊家、寺社、研究家に急告!!!

御大典、御成婚奉祝紀念献上の爲

磐城史料圖版集成刊行(凡て東京)

今上陛下御即位式と本縣八松平節子姫が長くも秩父
宮殿下と御成婚を遊ばされる御盛事等が執れも今秋舉行
し給へるに對し奉り、古來陸奥文化の故郷を爲す
我が磐城即ち現代石城郡の所謂歴史寫眞帳を生等淺學を
も願みす此際於て謹纂し之を献上し齊しく郷土の實在
をして天覽、臺灣の光榮を賜るべく冀ひ聊か本郡の國民
的誠意の一片を儀表し度ひ希ひである。

仍て本郡各舊家、寺社、研究家の所藏する古
遺物並に文書、家系譜或は學者、偉人、功勞
者、名工並に名人等の遺墨、肖像及其作品等
を至急寫眞材料に御貸與願ひたし。費用一切
申受す。御持参下されば複寫若しくは撮影し
て返却す。——締切本月末限り

申込所 平町白銀町十一(電話八〇九又は
七番、三〇一番)

謹纂並に解説者 諸 橋 元 三 郎
諸 草 野 順 平

此際各自所藏資料の提供を吝みて萬代に
悔ゆる勿れ!!!

氷 水

始 め
ま した

アイスクリーム・ミルクケーキ
其他清涼飲料物一式(電力應用)

夏期中蒲鉾を休みます

出前迅速 藤 市

電話三〇五

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる薬酒 粟 守 酒
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は睡眠の助力
栗守酒特約店 大平屋薬店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目一六四二二

新らしい
麥帽子の快感を!!
た子さん方のも種
種新らしい形が陳
列して有ります。
店商ヤルツ
【番十四百話電】町 平

不思議な靈効を有する
養 命 酒
甘味にして頗る芳香飲み易し眞に補血強壯劑の高級品也
代理店 山野邊藥局
平町五丁目角

銀行の預金権利
譲渡いたします
(姓名在社)

銀行の預金
買受けます
(姓名在社)

季節向御料理大勉強
愈々公園の節
廉賣 第一割烹とさわ
親切 第一割烹とさわ
町 嚙